

1. 位階制 [図表P. 65①]

☆聖徳太子の12階からはじまった制度は、律令制において1 _____ 階の位階制になった。

[最上位は2 _____、最下位は3 _____]

※位階とは…律令制下で官人個人の序列を示すもの。家柄・功績などにもとづいて与えられる。
(律令制形骸化後も名のみは残り続ける)

※5位以上の者を一般に「4 _____」といい、さらに、3位以上の官職である太政大臣、左大臣、右大臣、大納言(のちには中納言、参議も)を総称して「5 _____」とよぶ。これらのものには給与や納税に関して、さまざまな特権が与えられた(後述)。

① 6 _____ の制…位階に応じた官職につけるといふしくみ

【例えば…】

太政大臣になるためには _____、左右大臣になるためには _____ の位階を受けていることが必要。

② 7 _____ …各官庁の幹部職員が4等級に分かれていること。業務を統括する長官、補佐役の次官、公文書の作成等を職務とする判官、主典で構成。[図表 P. 65①②]

【読み方】

長官() - 次官() - 判官() - 主典()

※四等官は役所によって違う文字をあてる! [超重要!]

◇中務省など八省の場合

(かみ) (すけ) _____ - 丞 - 録

◇大宰府の場合

(かみ) (すけ) _____ - 監 - 典

◇国司の場合

(かみ) (すけ) _____ - 掾 - 目

◇郡司の場合

(かみ) (すけ) _____ - 主政 - 主帳

← 図P.65①表「位階」の欄と順番は、すはあに教えてみましょう。いくつにわけていたか? 4も図P.65①の表でわかります。5は図表P.64②の図でわかるか? どうでしょうか。

→ 図P.65①②の表および解説も読んでみましょう。

図P.65①②をよく見てみましょう。律令ではそのその職の中に4つの地位があるのか? その職ごとに使われる漢字が違ふ、という表です。逆にいつとその人の地位に使われている漢字をみれば、その人の仕事もわかるということができます。